

事務事業名	総合健診結果説明会・相談事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5206				
	□ 実施計画事業		所属課室	健康増進課		課長名	深澤 秀				
			所属担当	健康づくり担当		担当者名	古屋聖子				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	04	01	04	020	12	
施策	31	保健・医療の推進		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	法令根拠		健康増進法・高齢者の医療確保に関する法律				
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
事務事業の概要	総合健診結果を有効活用し、対象者に保健・栄養指導を実施、市民の健康意識の向上及び健康の保持・増進を図り健康に関する不安を解消する。		項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
	総合健診後、結果を振り分け要指導者選定する。結果説明会を開催するとともに、健診の結果を踏まえ、成人・高齢者の健康相談に随時対応する。特定保健指導者には、3ヶ月、6ヵ月後のフォローを行う。		消耗品費		13		印刷製本費		75		
	6ヵ月後のフォローを行う。		通信運搬費		910		計		998		
	①結果仕分け②結果通知③説明会開催、指導④訪問、電話などによるフォロー										

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	市内各地区41回(半日単位)実施予定。未来所者については、随時・夜間サービスにおいて返却、相談実施予定。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
	27年度活動予定	市内各地区41回(半日単位)実施予定。未来所者については、随時・夜間サービスにおいて返却、相談実施予定。			ア	総合健診受診者数	人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	総合健診を受診した市民 特定保健指導対象者		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	結果説明会対象者数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	健診実施後、保健指導が必要な対象者に結果説明を行うことで、疾病の早期発見、早期治療に結びつけるとともに、運動や食生活などの日常生活の改善を促すことで、より良い健康状態を保持・増進できるように促す。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	説明会被指導者数(実人数)	人
					イ	開催回数	回
					ウ	健康相談被指導者数(実人数)	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民の健康保持・増進、健康意識の向上。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	結果説明会被指導者(延人数)	人
					イ	健康相談被指導者数(延人数)	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,139	955	998	1,417	1,417	1,417	
		事業費計(A)	千円	1,139	955	998	1,417	1,417	1,417	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	22	22	20	20	20	20	
		延べ業務時間	時間	1,776	1,796	1,868	1,500	1,500	1,500	
		人件費計(B)	千円	8,083	8,174	8,501	6,827	6,827	6,827	0
		(A)+(B)	千円	9,222	9,129	9,499	8,244	8,244	8,244	0
活動指標	ア	人	12,614.0	12,556.0	12,885.0	12,055.0	12,055.0	12,055.0		
	イ									
	ウ									
対象指標	ア	人	4,479.0	3,882.0	4,194.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0		
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	人	4,151.0	3,554.0	3,865.0	3,720.0	3,720.0	3,720.0		
	イ	回	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0		
	ウ	人	328.0	289.0	318.0	330.0	330.0	330.0		
上位成果指標	ア	人	7,312.0	4,270.0	4,636.0					
	イ	人	426.0	289.0	318.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	老人保健法の総合健診実施に伴い事業開始。特定保健指導は、特定健診が始まった平成20年度より実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	疾病の早期発見、早期治療から疾病予防、そのための生活習慣改善目的へ変化。がん対策は、早期発見、早期治療への取り組みを継続中。H24年からは慢性腎症予防のため検査項目が追加された。H25年度より八田地実施時間の短縮、待ち時間の改善、呼出日以外の夜間随時返却の希望など。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	治療中・経過観察中など医療と重複している部分では呼び出しの簡素化を行い、より個人にあった内容の説明会実施を心がけている。また経年的な受診者数からスタッフ配置を調整し、待ち時間の短縮を図った。事前準備においては、職員の負担がかからないように事務的部分の簡素化を図った。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	呼出対象者の選定時に、基準を明確化し、さらに栄養指導者の優先度を段階別に分けることで説明会での混雑の解消を図った。呼出時間を細分することで来所者が分散するよう工夫した。また、説明会のスタッフ配置も前年

事務事業名	総合健診結果説明会・相談事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 現在の自身の健康レベル状況を認識し、日常生活を見直してもらうこと、必要な医療につながるがこの事業の目的であり、市民の健康の保持・増進につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民の健康の保持増進は、生活の根幹をなすものであり、市の活性化につながると考えられ妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民の健康ニーズの充足のため必要である。市民が定期的に自身の健康レベルを知り見直すことは、健康の保持増進につながり、医療費の抑制などにも通じる。この事業の果たす役割は大きいと考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 約1万件以上の個人結果を取り扱うので、さらに、効率的な方法を求めていく必要はある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 健診結果が正確に伝わらない恐れがある。受けるだけの健診となり、自身の健康を見直す機会にならない。必要な医療へつながらない恐れがあり、人命の面からも休止廃止に <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 費用のほとんどが、雇い上げ専門職の人件費にあたる。大量の結果を短期間で間違いなく仕分け、説明会を開催する流れを確保するには現状維持が必要。説明会での専門職の削減は事業の質の低下につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状、結果返却会場での待ち時間の短縮の要望がでているため、人件費の削減は事業の質の低下につながると思われる。結果説明会の回数及び対象人数も多いため、外部委託も困難な状況である。また、市民の多様な生活スタイルにより結果説明会以外での随時の結果返却・相談も増えていて削減は困難。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 前進事業である総合健診の受診時に個別に費用徴収しており、公平性はある。また、結果説明会に呼び出しはなかったが相談を希望する者には随時対応を行っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	精密検査対象者に相談業務をおこない、精密検査の受診を進める。受診者一人一人と丁寧に対応することにより精密検査受診率をあげる。このことにより健康増進を図る

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 効率的な相談業務とする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 保健師など人数の確保	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑤																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					